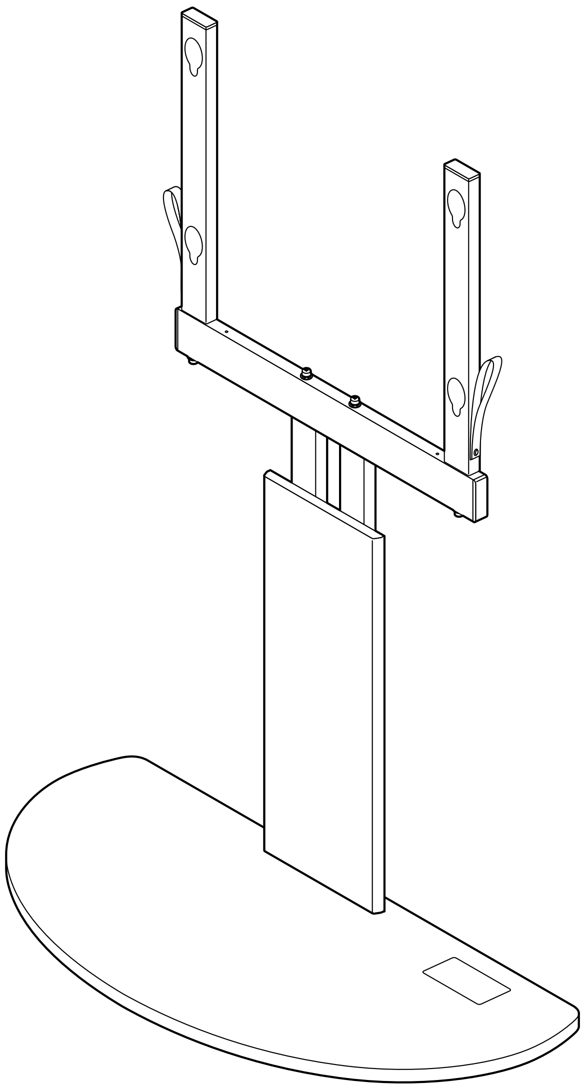
Panasonic

組み立て設置工事説明書

壁寄せ専用スタンド

品番 TY-WS5P1S



このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 組み立て設置工事の前に、この「組み立て設置工事説明書」と２～３ページの「安全上のご注意」、プラズマテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい組み立て設置工事を行ってください。プラズマテレビの取扱説明書とともに大切に保管してください。

TQZJ090-2

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⊘	してはいけない内容です。
●	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠警告

工事専門業者以外は組み立て設置、取り外し工事を行わないでください

禁止　工事の不備により、落下や転倒して、けがの原因となります。

長い距離を移動させる場合は機器本体を壁寄せ専用スタンドから取り外してください

- 取り外さないで長距離を移動すると不安定になり、落下・転倒してけがの原因となります。
- その他の近距離の移動などについては、８ページの「移動について」をご確認ください。

壁面から離れた場所に設置しないでください

禁止　倒れて、けがの原因となります。

ふすま・障子・アコーディオンカーテン等の前での使用は不安定になる為、設置しないでください

禁止　倒れて、けがの原因となります。

壁寄せ専用スタンドを分解したり、改造しないでください

分解禁止　倒れたり、破損して、けがの原因となります。

壁面を背にして設置してください

壁面を背にしないと倒れて、けがの原因となります。

掃除や配線処理などで壁面から離す場合は、補助金具を必ず矢印の刻印まで引き出してください

補助金具を矢印まで引き出さないと倒れて、けがの原因となります。

⚠注意

カタログで指定した機器本体以外には、使用しないでください

禁止　落下したり、破損して、けがの原因となることがあります。

壁寄せ専用スタンドに乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください

禁止　倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。（特に小さいお子様にご注意ください。）

湿度の高い場所では使用しないでください

禁止　長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

直射日光を避け、熱器具から離してください

長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください

不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

水平で安定した所に据えつけてください

倒れたり、破損して、けがの原因となることがあります。

テレビは転倒・落下防止の処置をしてください

地震や、お子様がよじ登ったりすると、転倒や落下をして、けがの原因になることがあります。

電源コードを底板にはさまないように設置してください

底板の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

機器本体より上面・左右は 10cm 以上、後面は 3cm 以上、本機下面と床面との空間をふさがないでください

禁止　機器本体には通風孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

テレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください

指はさみ注意　けがの原因となることがあります。

機器本体と壁寄せ専用スタンドの組み立て設置、取り外しは 2 人以上で行ってください

機器本体が落下してけがの原因となることがあります。

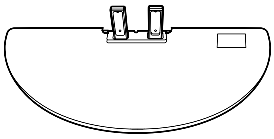
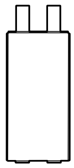
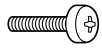
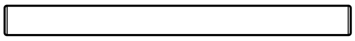
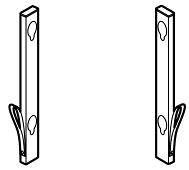
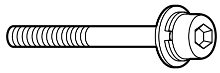
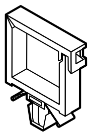
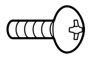
取り扱い上のお願い

1）直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
2）壁寄せ専用スタンドのお手入れは、やわらかい乾いた布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
(機器本体のお手入れは機器本体の説明書に従ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
3）粘着性のテープやシールをはらないでください。壁寄せ専用スタンドの表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。（変質の原因となります。）
4）設置時、衝撃などによって機器本体が破損することがありますので、取り扱いにはご注意ください。

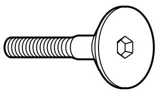
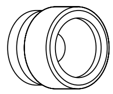
■ **取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。**

構成部品

壁寄せ専用スタンド組み立て用部品

① 底板 （1 個） 	② 支柱 （1 個） 	③ 支柱固定用ねじ （4 本）  M 6 × 15
④ 角パイプ A （1 個） 	⑤ 角パイプ B （左右各 1 個） 	⑥ 角パイプ固定用六角ボルト（4 本）  M 8 × 65
⑦ 六角レンチ（付属工具） （6 mm 用　1 個） 	⑧ クランパー （3 個） 	⑨ テレビ本体固定用ねじ （2 本）  4 × 12

取り付け用部品

Ⓐ 六角穴付き皿ねじ（4 本）  M 8 × 34	Ⓑ 皿型歯付き座金（4 個） 	Ⓒ 絶縁スペーサー（4 個） 

■イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

組み立て前のお願い

■ 壁寄せ専用スタンドに取り付けられるプラズマテレビ本体は、ディスプレイユニット・チューナーユニット・スピーカーで構成されています。

組み立て設置工事上の留意点

■ プラズマテレビ本体の性能保証やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。
- スプリンクラーや感知器のそば
- 高圧線や動力源の近く
- 暖房機器の風が当たる所
- 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
- 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
- エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所

■ 機器周囲温度が 40 ℃を超えることがないように、空気の流通を確保してください。
プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。

■ 組み立て設置工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。

■ ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。

■ 本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。

■ 組み立て設置工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。

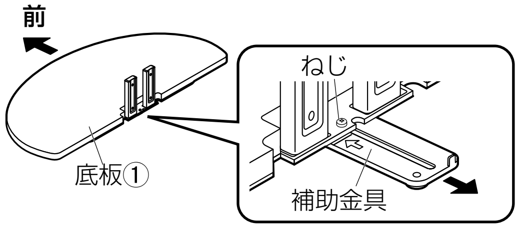
組み立て設置工事手順

1. 壁寄せ専用スタンドの準備

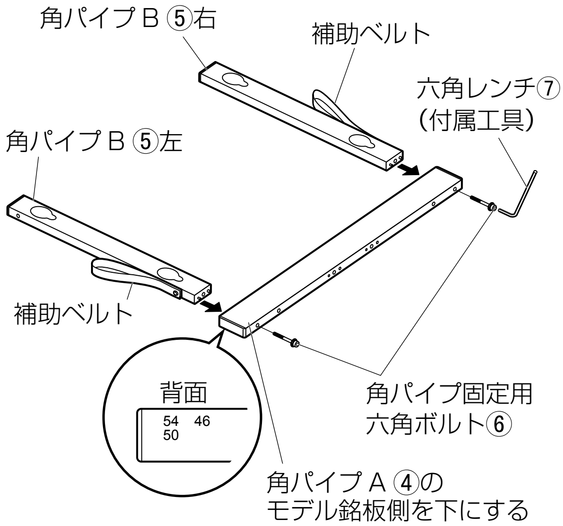
組み立て設置工事は、プラズマテレビ本体を設置する場所に近い場所で行ってください。
壁寄せ専用スタンドは約 38 kg です。

お願い

●組み立て設置工事は 2 人以上で行い、指はさみや腰を痛めないようにご注意ください。



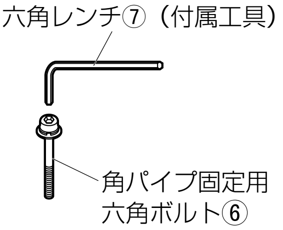
1. **底板①の後部についている補助金具のねじをゆるめ、矢印の刻印まで引き出し、ねじを締めて固定してください。**
（補助金具は、組み立て・取り外し時の転倒防止用です）



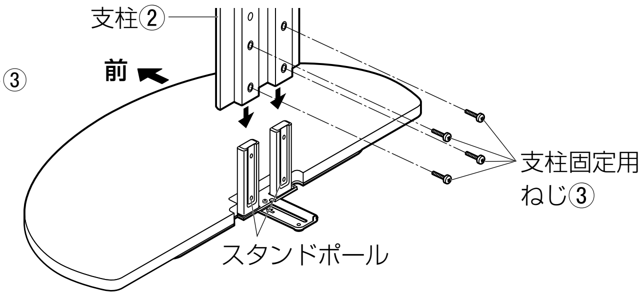
2. **角パイプA④と角パイプB⑤左・右の補助ベルトを外側に向けて平らな場所に置き、角パイプ固定用六角ボルト⑥（2 本）で組み立ててください。**
※プラズマテレビ本体の大きさにより角パイプB⑤の組み立て位置が変わります。
54・50 V 型は外側、46 V 型は内側です。
※付属工具の六角レンチ⑦をご使用ください。
（締め付けトルクは 8 ～ 10 N·m）

六角レンチの使いかた

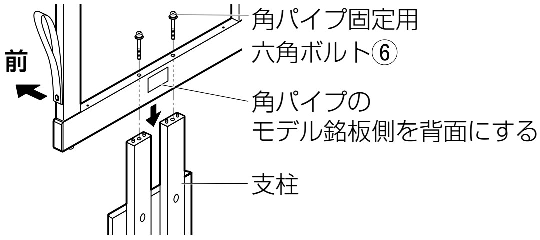
角パイプの締め付けトルクは
8 ～ 10 N·mが必要です。
組み立て **手順 1 - 2・2 - 2** は、
図のようにご使用ください。
・締め付け不十分な場合は、
プラズマテレビ本体が前に
傾くおそれがあります。



2. 壁寄せ専用スタンドの組み立て



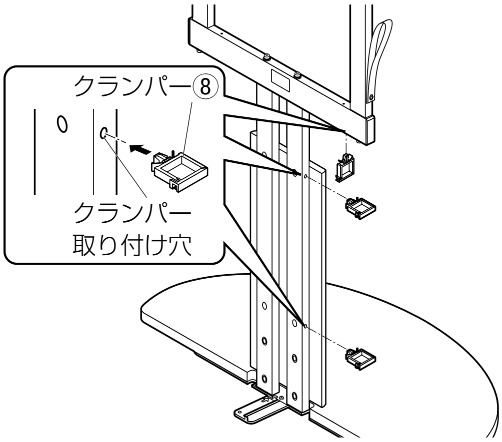
1. **底板①のスタンドポールに支柱②を差し込み、支柱固定用ねじ③（4 本）で取り付けてください。**
（締め付けトルクは 1.5 ～ 2 N·m）



2. **組み立てた角パイプを支柱②のダボに合わせて乗せ、角パイプ固定用六角ボルト⑥（2 本）で取り付けてください。**
（締め付けトルクは 8 ～ 10 N·m）

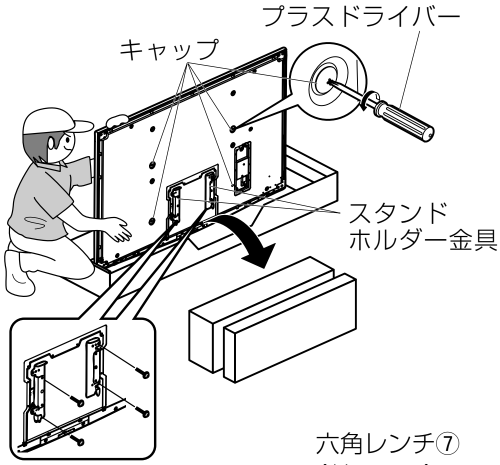
組み立て設置工事手順（つづき）

3. クランパー⑧（3 個）を支柱側面の穴 2 か所と角パイプ A 下面の穴 1 か所に差し込んでください。



3. ディスプレイユニットの準備

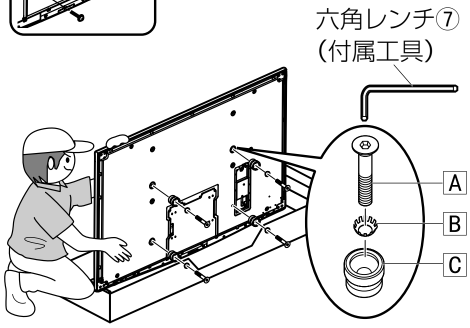
1. プラズマテレビ本体の外装ダンボール上側を取り除き、保護袋を下げてください。
   ディスプレイユニットが倒れないように、前から支えてください。
2. アクセサリーボックスとスピーカーボックスを外装ダンボールから取り出してください。
3. ディスプレイユニットからキャップ（4 個）とスタンドホルダー金具左・右のねじ（各 2 本）をプラスドライバーで取り外してください。



お願い

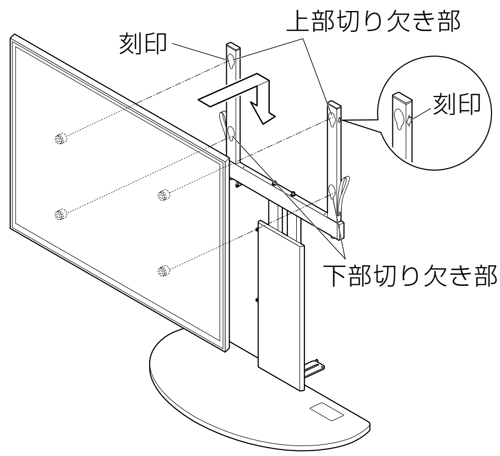
●取り外したキャップとスタンドホルダー金具・ねじは大切に保管してください。
（壁寄せ専用スタンドから取り外した場合に必要です。）

4. キャップを取り付けていた場所へ付属の六角穴付き皿ねじ Ⓐ、皿型歯付き座金 Ⓑ、絶縁スペーサー Ⓒ（各 4 個）を付属の六角レンチ ⑦ で右図のように取り付けてください。
   （締め付けトルクは 3 ～ 4 N·m）
   ●絶縁スペーサー Ⓒを取り付けずに組み立てると、ディスプレイユニットが破損するおそれがあります。



4. ディスプレイユニットの取り付けと配線処理

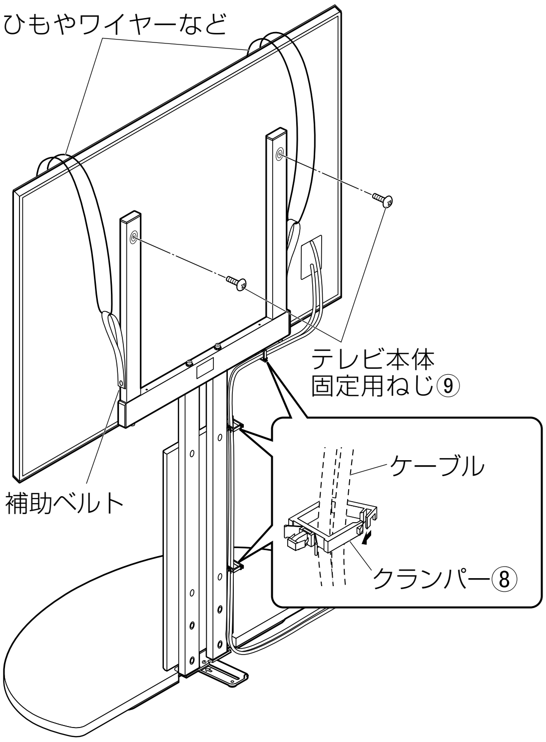
1. 角パイプB⑤左･右の切り欠き部 4 か所に､ディスプレイユニット背面に付けた絶縁スペーサーの位置を合わせて差し込み、そのままディスプレイユニットを下げてください。
   ※絶縁スペーサーを差し込む位置は、角パイプ側面にある刻印（⇦）をめやすにしてください。



2. 転倒防止処置の準備として、角パイプB⑤左・右の補助ベルトに丈夫なひもやワイヤーを通して、ディスプレイユニットの前にかけてください。
(転倒防止処置に必要なひもやワイヤーなどは、市販品をご利用ください)

3. 角パイプ背面（壁側）の上の穴に、テレビ本体固定用ねじ⑨（2 本）を使って、ディスプレイユニットを固定してください。
(締め付けトルクは 0.8 ～ 1.5 N·m)

4. ディスプレイユニット側に HDMI ケーブル（付属品または別売）を接続し、電源コードと合わせてクランパーで処理してください。
HDMI ケーブルはチューナーユニット設置場所との距離に合わせた長さのものをご利用ください。
チューナーユニットとの接続は転倒・落下防止処置後に行ってください。

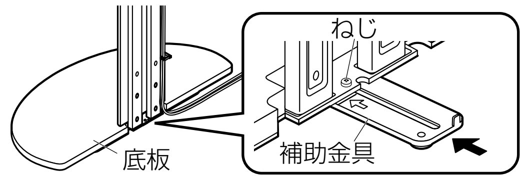


お知らせ

- ディスプレイユニットを壁寄せ専用スタンドに組み立ててからスピーカーを取り付けてください。スピーカーの取り付けおよび配線のしかたは、プラズマテレビ本体の取扱説明書をご参照ください。
- ハイビジョンワイヤレスユニットをご使用の場合はその説明書に従ってください。

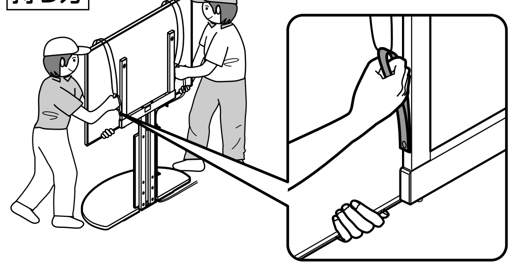
5. 転倒・落下防止処置

1. 底板の補助金具のねじをゆるめ、もとに戻して固定します。



2. プラズマテレビ本体を取り付けた壁寄せ専用スタンドを、手順 4-2 で準備した転倒防止用のひもやワイヤーが外れないように、角パイプB⑤左・右の補助ベルトとディスプレイユニット下部を持って壁面に沿った設置する場所まで移動させてください。

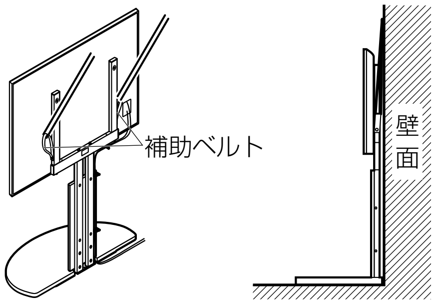
持ち方



お願い

- プラズマテレビ本体を取り付けた壁寄せ専用スタンドは、重量が重くなります。運搬や移動する場合は、指定した箇所を持って行ってください。スピーカーは持たないでください。強い衝撃を与えないように 2 人以上で行い、床面等に傷が付かないよう、ご注意ください。

3. 手順 4-2 で準備した転倒防止用のひもやワイヤーを壁側に固定してください。



「安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください」

地震の場合などに倒れるおそれがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※ 本欄の内容は、地震などでの転倒によるけがなどの危害を軽減するためのものであり、全ての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

プラズマテレビ本体の移動と取り外し

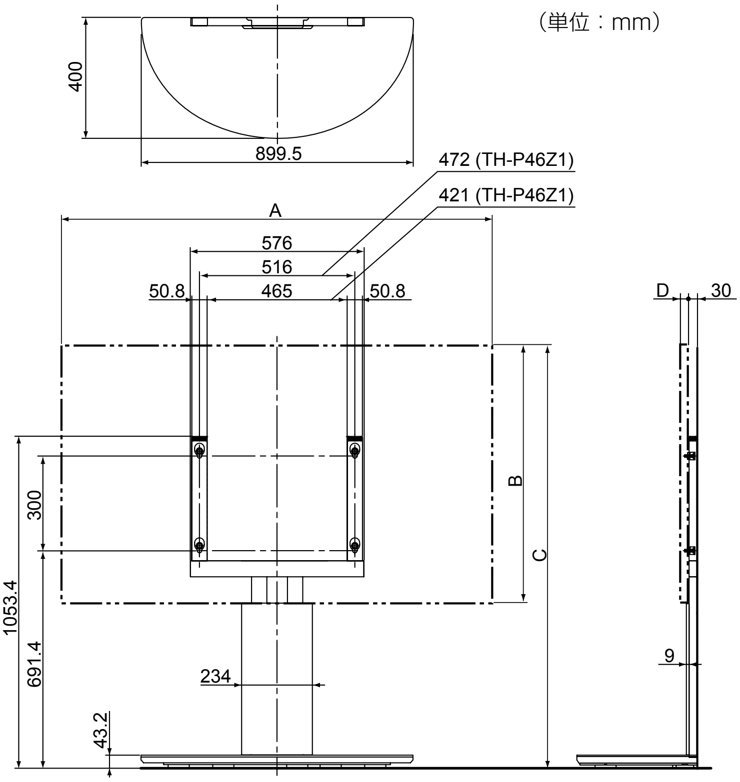
移動について

●接続機器の増設や掃除など、室内を移動させる場合は、手順 5-2（お願い）に従い行ってください。
●引越しや長い距離を移動させる場合は、プラズマテレビ本体を取り外してください。取り外しは工事専門業者に依頼してください。

取り外しについて

1. 転倒・落下防止処置を外して壁寄せ専用スタンドを引き出してください。
2. 底板の後部についている補助金具のねじをゆるめ、矢印の刻印まで引き出し、ねじを締めて固定してください。
3. 接続機器との配線を外してください。
4. 角パイプ背面（壁側）の上のテレビ本体固定用ねじ⑨（2 本）を外してください。
5. プラズマテレビ本体を持ち上げながら、手前へ引いて取り外してください。

外形寸法図



対象機種	寸法			
	A	B	C	D
TH-P54Z1	1428	820	1344	25
TH-P50Z1	1336	762	1288	25
TH-P46Z1	1249	719	1244	25

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

パナソニックお客様ご相談センター
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
■携帯電話・PHS でのご利用は…
06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365 日／受付 9 時～ 20 時

M0209K2039 (PBS)